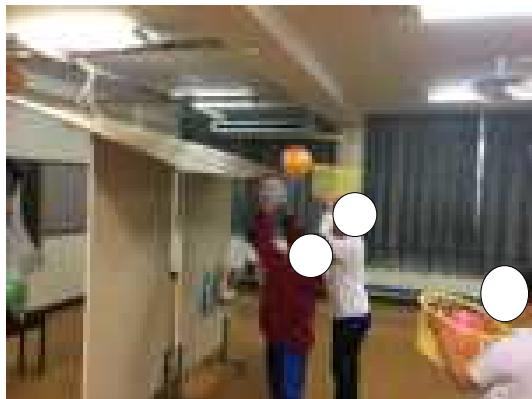


教材教具および題材	学部	授業名 (主たる教科領域)	執筆者
ピンボールランナー ～VS 奈良東～	小	学級活動 6年 (生活、自立活動)	戸嶋朱里 谷川 淳

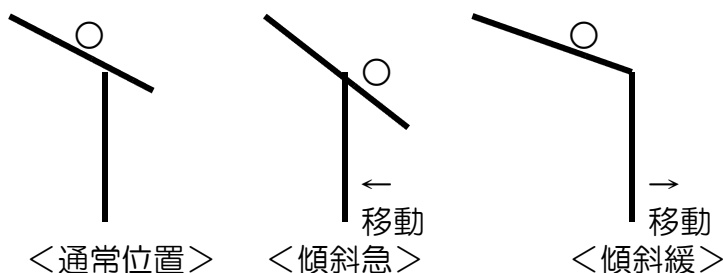
<ねらい>

- ☆友達と一緒にゲームを楽しむ。(生活)
- ☆ボールを注視して、動きを予測して3つのかごを効率的に操作(タイミングよく空のかごに持ち変えるなど)してすべてのボールをキャッチする。
- ☆教師の呼びかけに気づき、上方にあるボールを見たり、移動して転がってくるボールをかごで受けたりする。



<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

- ・ボールが転がってくる斜面として、大型段ボール(冷蔵庫用)をコンパネ大の大きさに切ったものを3枚使用。つなぐ、つるすための穴をいくつかあけ、ひもを通した。他に展示用のパーテーションを2枚。天井からつるすための仕掛けはプレイルームに設置してあるバーや手すり等を使い、S字フックで固定した。
- ・以下のように設置を行った。パーテーションを移動することで、児童の実態に応じて斜面の角度を調整した。



- ・児童1, 2名ずつで取り組んだ。転がってきた10個のボールをかごにキャッチできた個数で勝敗を決める。転がす間隔や速度などは児童によって調整する。

<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- ・児童の実態に合わせて、様々な形態で取り組めた。(ボールを転がす間隔の調整、予測できる児童にはボールを斜めに転がす、ボールを見られない児童には斜面の間から教師が顔を出せるのでボール持って声かけした、段ボールに隙間を作ってレールのようにしてボールが落ちてくるところを見えるようにする。など)

<その他(材料、費用、購入先等)>

- ・段ボール、ひも、S字フック
 - ・引っかけるポイント
 - ひも

